

御老公天然温泉 効能表

【源泉名】 御老公天然温泉
 【場所】 茨城県猿島郡境町1327-1
 【湧出地】 茨城県猿島郡境町字鹿島下1331番9
 【泉質】 ナトリウム-塩化物強塩温泉 (高張性—弱アルカリ性—高温泉)
 【泉温】 50.9℃
 【温泉成分】 試料1kg中の成分：分量及び組成

(イ) 陽イオン

成分	ミリグラム(mg)	ミリバル(mval)	ミリバル% (mval %)
ナトリウムイオン	5897	256.5	87.75
カリウムイオン	182.6	4.67	1.60
マグネシウムイオン	85.9	7.07	2.42
カルシウムイオン	455.7	22.74	7.78
鉄(Ⅱ)イオン	2.0	0.07	0.02
鉄(Ⅲ)イオン	<0.1	-	-
マンガンイオン	0.2	0.01	0.00
アンモニウムイオン	17.0	0.94	0.32
リチウムイオン	0.6	0.09	0.03
ストロンチウムイオン	5.5	0.13	0.04
バリウムイオン	5.2	0.08	0.03
アルミニウムイオン	0.3	0.03	0.01
陽イオン計	6652	292.3	100

(ロ) 陰イオン

成分	ミリグラム(mg)	ミリバル(mval)	ミリバル% (mval %)
フッ素イオン	0.7	0.04	0.01
塩素イオン	10620	299.6	99.11
臭素イオン	41.8	0.52	0.17
ヨウ素イオン	12.3	0.1	0.03
硫化水素イオン	<0.1	-	-
硫化物イオン	<0.1	-	-
硫酸イオン	2.6	0.05	0.02
炭酸水素イオン	120.9	1.98	0.65
炭酸イオン	<0.1	-	-
水酸イオン	<0.1	-	-
陰イオン計	10800	302.3	100

(ハ) 遊離成分

非遊離成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)
メタケイ酸	61.4	0.79
メタホウ酸	107.3	2.45
非遊離成分計	168.7	3.24

溶存ガス成分

成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)
遊離二酸化炭素	16.3	0.37
遊離二酸化水素	<0.1	-
溶存ガス成分計	16.3	0.37

(ニ) その他の微量成分

総ヒ素	0.001mg/kg 未満	亜鉛イオン	0.01mg/kg 未満
銅イオン	0.01mg/kg 未満	総クロム	0.005mg/kg 未満
鉛イオン	0.005mg/kg 未満	カドニウム	0.001mg/kg 未満
総水銀	0.00005mg/kg 未満		

【適応症】 <一般的適応症>
 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復期、健康促進

<泉質別適応症>
 きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病

【禁忌症】 <一般的禁忌症>
 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患

<泉質別禁忌症>
 なし

- 【浴用上の注意事項】
- 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
 - 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当にすること。
 - 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯きわり又は浴場反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
 - 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - 入浴時間は、入浴温度により異なるが、はじめは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
 - 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - 入浴後は、身体に付着した温泉成分を水で洗い流さない（湯ただれをおこしやすい人は逆に浴後真水で体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。）
 - 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
 - 次の疾患については、原則として高温浴を（42℃以上）を禁忌とする。

ア 高度の動脈硬化症 イ 高血圧症 ウ 心臓病
 - 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意する。
 - 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
 - 飲酒しての入浴は特に注意すること。